

## 予算特別委員会報告

予算特別委員会の報告を行います。

去る9月2日の本会議において、付託されました案件について、9月4日、委員会を開催しました。

当局に関係職員の出席を求め、慎重に審査した経過と結果をご報告いたします。

付託されました案件は、令和2年度上野原市一般会計補正予算、病院事業会計補正予算及び各特別会計補正予算の、合わせて16件です。

審査は、関係課に説明を求め、その後質疑・採決を行いました。

議案第103号 令和2年度上野原市一般会計補正予算 第4号 について、主な歳入内容としては、普通交付税の交付額の確定に伴う8千820万1千円と、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金2億9千950万4千円を、今回の緊急対策事業に充当するための増額補正を行い、また、今回の補正予算について財源を調整するため、財政調整基金繰入金を9千44万8千円減額補正するものです。

歳出の主な補正内容は、総務費では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う新しい生活様式的环境整備として、サテライトオフィス整備補助金、在宅ワーク整備補助金を合わせて1千600万円増額補正するものです。

委員からは、サテライトオフィス整備補助金について、目的に「移住・定住の促進」、「市内の雇用の場の確保」が挙げられているので、対象者の要件については、その目的が達成できるように十分検討すべきとの意見が出されました。

民生費では、国民健康保険特別会計の繰越額確定に伴う繰出金1千776万4

千円および、介護保険支援事業の前年度事業費確定による返還金と職員配置実績に伴う償還金・繰出金844万8千円を増額補正するものです。

衛生費では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている、または受ける見込みのある妊婦を支援するため、妊婦応援特別給付金支給事業費を252万1千円、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を防ぐための予防接種事業費を1千46万6千円増額補正するものです。

委員からの、高齢者と子どものインフルエンザ予防接種の接種率はどのくらいか、という質問については、去年は高齢者が44%、子どもが39%とのことで、今年新型コロナウイルス感染症の影響で増加が見込まれるため、接種率を7割で計上したとの説明がありました。

農林水産業費では、今後の台風シーズンの到来に向け、農業用施設維持費を302万8千円、森林環境譲与税を活用した森林調査結果データの林地台帳システムへの取込作業および危険木伐採に伴う委託料として、森林環境整備事業費283万8千円を増額補正するものです。

商工費では、中小・小規模事業者等支援の実績に伴い、補助金等4千292万円を減額する一方、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている商店街等を応援するため、商品券を配布し消費を促すことを目的とした、商店街等応援事業費1億2千332万3千円を増額補正するものです。

委員からの、商品券が使用可能な店の職種は、という質問については、今までに行った商品券事業の内容を参考にすることで、現在検討しているとのことでした。

土木費では、市内道路の維持管理費として4千715万2千円、市道法面改修及び市有地整地等に要する経費として市単独道路事業費を5千888万7千円

増額補正する一方、財源である辺地対策債割当額の減少に伴う辺地対策事業費を2千710万円減額補正するものです。

教育費では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた大学生や高校生等の補助金支援の実績に伴い、1千550万円を減額補正し、学校内における新型コロナウイルス感染症予防対策として198万2千円を増額補正するものです。

諸支出金では、森林環境譲与税を活用した森林環境整備事業を実施するため、森林環境基金積立金283万8千円を減額補正するものです。

次に、議案第104号から議案第109号までの特別会計の主な補正内容ですが、大半が令和元年度から令和2年度における繰越金の額の確定に伴うものです。

議案第104号の国民健康保険特別会計の主な補正内容は、新型コロナウイルス感染症の影響による減免に伴い、一般被保険者保険税還付金を402万9千円増額補正するものです。

また、議案第106号の介護保険特別会計の主な補正内容は、令和元年度事業費の確定に伴い国等への返還金5千666万6千円を増額補正するものです。

議案第110号から議案第117号までの財産区特別会計の主な補正内容は、繰越額の確定に伴い、各財産区の歳入の繰越金と歳出の予備費をそれぞれ増額補正・減額補正するものです。

以上、当局提出16案件については、採決の結果、いずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

以上、予算特別委員会の報告といたします。